

製造業

- ◇パン…特に変化はないが、少しずつ売上高が減少しているのは事実。麦価値上りは世の中の流れで仕方ないと思うが、頭の痛いところである。
- ◇酒…1月の課税移出数量は前年比94.8%に止まり、昨年8月以降前年を上回ることが出来ず苦戦。焼酎乙類は主力メーカーが順調に伸び1月は113.4%と前年を上回った。
- ◇納豆…企業によりバラつきはあるが、厳冬による野菜高やマスコミやテレビなどで納豆が多く取り上げられたこともあり、一時的な現象かもしれないが久しぶりに好調。反面、納豆業は典型的な内需産業なので、円安の影響がどこまで大きくなるのか不安を持っている。増収減益にならなければと願っている。
- ◇菓子…昨年末からの寒さが尾を引いているため、顧客の足が遠のき売上は伸びず、景況は下押傾向にある。陽気が良くなれば売上は伸びると思われる。
- ◇繊維製品(袋物)…やはり景気は「気」の問題。多少なりとも良い動きが見られる。各社ともに人件費アップを検討中。
- ◇繊維製品(縫製)…前年並みの売上高で推移。3、4月は業界にとって例年は多忙期で、売上増に期待している。
- ◇木材…木材市況は、円安や株高の基調が続いており、大手住宅メーカーをかかえたプレカット工場は、不需要期にありながら例年にない忙しさも見られた。問題は、輸入製品を中心に値上げ基調が見られ、仕事はあっても収益の確保に頭を悩ませている。一方で地場の大工・工務店は不需要期ということもあり、盛り上がりが見られない荷動きである。
- ◇プレカット…1月末引取分が売上計上になり売上はクリアできたが、加工坪数は目標の50%であった。3月は、20日前後から加工が集中しそうである。
- ◇段ボール…昨年より売上は減少し、いまだ景気の上がりを感じられない業界。昨年より悪化している企業が多い。水産関係は依然悪く、寒さで野菜類が育たず箱の量が少なかった。
- ◇総合印刷…従業員数の減少が続いている。価格の下落傾向も続いており、厳しい状況に変わりはない。
- ◇焼物…天候も温暖になり、週末はお客様で混んでいるお店も出てきた。震災から2年が経過し、まだまだ復興の完遂とは言えないが、前を向いて意気込みを伝えられるよう精一杯努力していきたい。
- ◇鍍金…受注量はめっき業界として前年比1~2割減少。新規の製品見積りが少なく、また引き合いがあっても値下げ要求等もあり、経営的にはあまり

はかばかしくない。自動車部品関係は、昨年秋口から大幅減産に下げ止まりが出て前年比1割程度の減少であるが、値下げ要求もある。金属材料は、貴金属並びにニッケル金属等は大きな変動はないが高含みで推移。その他の工業用薬品については大きな変動はない。アベノミクスの経済効果は当業界にはまだない。

- ◇重電…取引先の統合により、この先の仕事量について不安を感じている事業所がある。
- ◇電化機器…当月生産高は858百万円(△9.5%)で、9月から続く前年同月比マイナスは未だ止まらず、前月比では105百万円(13.9%)であった。自動車関連事業所で10月から続いた前月比マイナスの状況は当月解消となったが、生産品目による各々の生産状況には増減が表れている。
- ◇自動車部品…前月同様、第2四半期以降から減少傾向にある生産高減少に歯止めが掛らず、厳しい状況下にある。
- ◇工業団地(農機部品)…組合員7社中4社が売上増で、全体では前年同月比105%。得意先の販売動向は、先月に引き続き、まずまず順調のようであるが、それに見合った受注状況にはなっていない。得意先では、海外生産が順調に立ち上がっており、又、価格競争力を高めるための海外調達拠点もタイに設置され動き始めることになった。このあたりがどれくらい影響してくるかが、まだわからない状況である。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は、対前年比3%の減少であったが、前々年比では13%の増加であった。震災工事は9割程度復旧が進んだと思われるが、まだ北茨城地区、鹿行地区に残っている模様。
- ◇水産卸…精算所取扱高は営業日が3日少なかった事により前年同月比5.78%の減。市場の活性化を図るべく2/16に「朝市」を開催し、一般客へ市場のアピールに努めている。
- ◇食品卸売…賃金の伸び悩みに加え、何かと諸経費がかかり消費者の財布の紐がきつく、嗜好品、特に果実等の購入意欲が減っており青果関係は厳しい状況に置かれている。また、燃料等の高騰が懸念され、長期化してほしくないマイナス材料である。
- ◇県南地区卸売…一部の企業で売上高が減少。売掛金の回収遅延により資金繰りが悪化。
- ◇県北地区共同店舗…不要不急な物が大変厳しい状況。特に衣料品などはその筆頭でとても深刻。
- ◇県央地区共同店舗…所得の減少により消費活動に

余裕が無く、必要なものを必要な分だけ買っている状況。政権が代わったばかりで、経済が上向きになるまでには時間がかかると思うが、株価も上昇しているため大きな期待をしている。

- ◇**県南地区共同店舗**…前月より売上前年比率が悪化した。特に食料品と文化品関連の落ち込みが激しい。3月期に広域型超大型店がグランドオープンするため、先行きが懸念される。
- ◇**家電**…1月に続き売上は減少傾向。テレビ需要が大きく落ち込んでおり、依然として苦戦を強いられている。反面、洗濯機、加湿空気清浄機等が動き始めたが、売上全体を押し上げるまでには至らず、厳しい業況に変わりはない。
- ◇**中古自動車**…2月は、オークション開催回数が1回少なかったものの、成約率が対前年6%アップと好調であったため、売上等には殆ど影響を及ぼさなかった。
- ◇**石油**…ガソリンの販売価格は前年同月比10円上昇しているが、販売量が減少しており、昨年並みの販売量を確保しようと安値販売競争が続き、依然として収益の改善は見られない。2月から消防法の規制強化に伴い、廃業に追い込まれる組合員が増えている。
- ◇**ホテル旅館**…海沿いの施設は、鯨鯨のシーズンで団体・個人のお客で賑わうはずが、休祭日以外は前年割れのところも多い。東電からの補償に頼らず経営していきたいが、現状は厳しい。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は前年同月比普通車96.7%、軽自動車は97.4%とともに減少。例年2月と8月は登録台数が少ないため減少する。
- ◇**総合建設**…災害復旧で工事量は増加したが作業員、技術者はすぐに補充できない。年度末公共工事の年度内完成の要求が高い。通常より多い年度末工事に対し一般市民から工事渋滞の苦情が寄せ

られ、板挟みに苦労している。

- ◇**管工事(県南)**…動きのなかった1月に比べ、若干材料の動きがみられた。年度末にかけて全体的に少しずつ忙しさを感じる。
- ◇**電気工事**…他県や異業種の会社がメガソーラーの工事やLED取替・取付工事を請負、安く下請に出しているため、工事量は増加しても儲けは少なく、単に忙しいとの声が多い。材料から工具まで元請会社の物を使用するとなると工事店は単なる手間にしかならない。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は稼働工数減並びに昨年と比較しても低迷。一方、燃料価格が12週連続で高騰しており、収益は苦しい状況。
- ◇**県央地区運輸**…稼働日数も少ない上、工場関係の棚卸しのため荷が少なかった。建材資材の動きはあるが一般的に荷がない。軽油は値上がりが続いているため経営を圧迫。


H25.2月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業	▲	▲ 33.3	▲ 16.7	▲	▲
その他業	▲	▲ 35.0	▲ 50.0	▲	▲
卸売業	▲	▲ 50.0	▲ 50.0	▲	▲
小売業(商店街を含む)	▲	▲ 54.5	▲ 54.5	▲	▲
サービス業	▲	▲ 100.0	▲ 100.0	▲	▲
建設業	▲	▲ 20.0	▲ 40.0	▲	▲
運輸業	▲	▲ 100.0	▲ 100.0	▲	▲
全体	▲	▲ 44.0	▲ 50.0	▲	▲

【天気図の見方】 県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～▲10	▲10超～▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



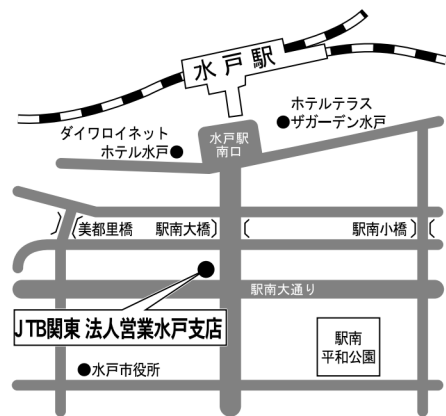
感動のそばに、いつも。

JTB関東法人営業水戸支店は、旅行業界のリーディングカンパニーであるとともに、旅行のプロフェッショナルとして常にお客さまへ質の高いサービスを提供してまいります。また、地域社会の一員として地域活性化、地域振興にも取り組んでいます。

☎029(225)5233
JTB関東 法人営業水戸支店
 〒310-0803 茨城県水戸市城南1-1-6
 サザン水戸ビル2階
 FAX. 029 (226) 4017

営業時間 月～金曜/9:30～17:30
 (土曜・日曜・祝祭日休業)

総合旅行業務取扱管理者 河部悦夫
 (株)JTB関東 (社)日本旅行業協会正会員
 国土交通大臣登録旅行業第1578号



水戸駅

ホテルテラス ●ザガーデン水戸

ダイワロイネットホテル水戸 ●

水戸駅南口

(美都里橋 駅南大橋) (駅南小橋)

駅南大通り

JTB関東 法人営業水戸支店

●水戸市役所

駅南 平和公園